

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 ディービーエックス株式会社

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若林 誠

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長

(氏名) 田島 恵美子

TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,887	13.2	419	35.4	416	33.1	233	104.6
23年3月期第2四半期	8,731	19.0	310	3.8	312	△1.1	113	△37.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	82.73	—
23年3月期第2四半期	40.43	—

(注)当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第2四半期	8,302		2,689		32.4	
23年3月期	7,719		2,521		32.7	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,689百万円 23年3月期 2,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成23年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,227	12.4	793	1.7	788	0.5	417	16.8	147.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成23年11月9日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	2,820,000 株	23年3月期	2,820,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	540 株	23年3月期	514 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	2,819,485 株	23年3月期2Q	2,819,547 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当

たり四半期(当期)純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災による国内経済の停滞に回復傾向が見受けられたものの、原発事故による電力不足問題、風評被害、欧米の景気減速に伴う大幅な円高や株安の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

医療機器業界におきましては、経営改善に努める医療機関等取引先からの販売価格引き下げ要求は依然として高く、医療機器業界をとりまく経営環境は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化、西日本エリアでの不整脈事業の販路の拡大、メーカーとの連携強化、社内教育体制の充実等、より競争力のある企業体制の構築、企業価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は9,887,463千円（前年同期比13.2%増）、営業利益419,821千円（前年同期比35.4%増）、経常利益416,465千円（前年同期比33.1%増）、四半期純利益233,266千円（前年同期比104.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不整脈事業

西日本エリアでの新規顧客獲得を目指すとともに、既存顧客に対する付加価値の高い提案型営業を行う販売体制の構築に注力した結果、植込み型除細動器（ICD）、両室ペーシング機能付き植込み型除細動器（CRT-D）や電極カテーテル等の主力商品が販売数量を伸ばし、当第2四半期累計期間の不整脈事業の売上高は8,143,978千円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は1,124,977千円（前年同期比0.3%増）となりました。

②虚血事業

昨年6月に事業譲受した静岡エリアにおいて販路拡大に注力した結果、バルーンカテーテル等が好調に推移し、当第2四半期累計期間の虚血事業の売上高は1,543,106千円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益は594,249千円（前年同期比12.6%増）となりました。

③その他

当第2四半期累計期間のその他の売上高は200,378千円（前年同期比42.1%増）、セグメント利益は27,055千円（前年同期比44.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ547,254千円増加し、7,712,458千円となりました。これは主に現金及び預金の増加及び売上の増加にともない受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ35,044千円増加し、589,579千円となりました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ582,298千円増加し、8,302,037千円となりました。

（負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ417,490千円増加し、5,344,407千円となりました。これは主に売上の増加に対応した仕入の増加にともない買掛金が増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ2,442千円減少し、268,425千円となりました。これは主に長期借入金が減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ415,047千円増加し、5,612,832千円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ167,251千円増加し、2,689,205千円となりました。これは主に利益剰余金が剰余金の配当により減少した一方で、四半期純利益を計上したことにより増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は32.4%（前事業年度末は32.7%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ253,336千円増加し、資金残高は2,337,300千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純利益418,104千円に加え、仕入債務の増加281,532千円、売上値引引当金の増加62,589千円、減価償却費35,732千円等の収入要因があったものの、売上債権の増加253,197千円、法人税等の支払額123,490千円等の支出要因により、494,114千円の資金の獲得（前年同期比83.1%増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出46,530千円、投資有価証券の取得による支出40,475千円、無形固定資産の取得による支出20,534千円、事業譲受による支出20,000千円等の支出要因により、124,034千円の資金の支出（前年同期比39.5%減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入、長期借入による収入150,000千円の収入要因があったものの、短期借入金、長期借入金の返済による支出203,296千円、配当金の支払額60,522千円等の支出要因により、115,134千円の資金の支出（前年同期比19.7%増）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月16日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年11月9日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。この適用により、当第2四半期貸借対照表日後（平成23年10月1日付）に行った株式分割は、前事業年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第2四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額 80円86銭

なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,083,963	2,337,300
受取手形及び売掛金	4,351,969	4,605,166
商品	601,715	599,645
繰延税金資産	61,656	105,790
その他	67,298	66,056
貸倒引当金	△1,400	△1,500
流動資産合計	7,165,203	7,712,458
固定資産		
有形固定資産	215,851	213,481
無形固定資産	61,876	75,155
投資その他の資産		
投資有価証券	61,863	97,001
差入保証金	101,385	96,936
繰延税金資産	104,283	97,543
その他	36,226	34,474
貸倒引当金	△26,952	△25,012
投資その他の資産合計	276,806	300,942
固定資産合計	554,535	589,579
資産合計	7,719,739	8,302,037
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,263,342	4,544,875
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	187,331	145,351
未払法人税等	129,000	228,500
賞与引当金	90,608	116,278
売上値引引当金	—	62,589
その他	156,635	146,813
流動負債合計	4,926,917	5,344,407
固定負債		
長期借入金	102,636	91,320
退職給付引当金	96,540	104,423
役員退職慰労引当金	56,218	58,906
その他	15,472	13,775
固定負債合計	270,867	268,425
負債合計	5,197,785	5,612,832

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	344, 457	344, 457
資本剰余金	314, 730	314, 730
利益剰余金	1, 863, 787	2, 036, 435
自己株式	△437	△465
株主資本合計	2, 522, 537	2, 695, 157
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△583	△5, 952
評価・換算差額等合計	△583	△5, 952
純資産合計	2, 521, 953	2, 689, 205
負債純資産合計	7, 719, 739	8, 302, 037

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	8,731,374	9,887,463
売上原価	7,063,254	8,141,180
売上総利益	1,668,120	1,746,282
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	517,078	520,104
賞与引当金繰入額	114,086	116,278
役員退職慰労引当金繰入額	3,200	3,187
退職給付費用	8,636	10,844
その他	715,096	676,046
販売費及び一般管理費合計	1,358,097	1,326,461
営業利益	310,023	419,821
営業外収益		
受取利息	225	48
為替差益	6,213	2,142
その他	833	328
営業外収益合計	7,272	2,519
営業外費用		
支払利息	3,260	2,196
貸倒損失	1,079	—
デリバティブ評価損	—	3,679
営業外費用合計	4,340	5,875
経常利益	312,955	416,465
特別利益		
固定資産売却益	—	2,221
貸倒引当金戻入額	402	—
特別利益合計	402	2,221
特別損失		
固定資産除却損	37	478
関係会社株式評価損	119,319	—
関係会社貸倒引当金繰入額	23,150	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,125	—
その他	—	104
特別損失合計	143,632	582
税引前四半期純利益	169,725	418,104
法人税、住民税及び事業税	212,978	222,297
法人税等調整額	△157,249	△37,460
法人税等合計	55,729	184,837
四半期純利益	113,995	233,266

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	169,725	418,104
減価償却費	41,204	35,732
のれん償却額	3,380	4,192
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,125	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	3,679
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,747	△1,839
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,583	25,669
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,867	7,883
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,333	2,687
売上値引引当金の増減額 (△は減少)	134,701	62,589
受取利息及び受取配当金	△271	△91
支払利息	3,260	2,196
為替差損益 (△は益)	2,123	1,608
関係会社株式評価損	119,319	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△2,152
有形固定資産除却損	37	478
貸倒損失	1,079	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△44,036	△253,197
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,695	2,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	90,328	281,532
未払賞与の増減額 (△は減少)	△9,945	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,872	3,891
受託開発勘定の増減額	△1,378	—
その他	△18,308	24,053
小計	458,643	619,090
利息及び配当金の受取額	271	91
利息の支払額	△2,356	△1,576
法人税等の支払額	△186,761	△123,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	269,797	494,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△116,152	△46,530
有形固定資産の売却による収入	—	865
有形固定資産の除却による支出	—	△1,628
無形固定資産の取得による支出	△2,122	△20,534
投資有価証券の取得による支出	—	△40,475
差入保証金の差入による支出	△1,702	△123
差入保証金の回収による収入	4,160	4,573
事業譲受による支出	△89,111	△20,000
その他	△206	△181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,135	△124,034

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△100,000
長期借入れによる収入	50,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△88,816	△103,296
自己株式の取得による支出	△263	△28
配当金の支払額	△56,183	△60,522
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△962	△1,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,225	△115,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,123	△1,608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△33,686	253,336
現金及び現金同等物の期首残高	2,265,389	2,083,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,231,702	2,337,300

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、平成23年 9 月14日開催の取締役会決議に基づき、平成23年10月 1 日付をもって株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を実施いたしました。

1 株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更の目的

株式分割の実施により、投資単位当たりの金額を引き下げること、投資家層の拡大と当社株式の市場流動性の向上を図ります。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成23年 9 月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって分割いたしました。

(2) 発行可能株式総数の増加

平成23年10月 1 日付をもって当社定款の一部を変更し、発行可能株式総数を5,500,000株増加させ、11,000,000株といたしました。

3 株式分割の時期

平成23年10月 1 日を効力発生日といたしました。

上記の株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の、前第 2 四半期累計期間における 1 株当たり情報は、以下のとおりであります。

前第 2 四半期累計期間 1 株当たり四半期純利益金額 40円43銭

なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。